アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.116/2016 年 9 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第116号をお届けします。

【1】7月研究会開催のご報告

辻宏之様

7月のAP研は、SAT研・SANE研との併催で、20(水)～22(金)に北海道小樽市の小樽港マリーナにて開催しました。3日間にわたり合計55件(SAT研・SANE研・合同講演などを含む)の発表が行われました。AP研セッションでは、「革新の礎を築く電波伝搬の研究」と題した伝搬オーガナイズドセッションが開催されました。5G移動通信システムなどの新しい無線通信システム開発の基礎となる電波伝搬に関する発表が多く行われ、それに対する活発な議論が繰り広げられました。また、AP/SAT研合同のチュートリアル講演として、NICTの辻宏之様により「航空機搭載用衛星追尾アンテナの開発と展望」というタイトルでご講演頂きました。無人航空機に搭載可能な衛星追尾アンテナの開発や衛星移動体通信の状況を考慮した衛星追尾アンテナの今後の展望についてわかりやすくご説明頂きました。

【2】MJWRT2017の開催案内

AP研では、研究会活動の国際化を推進する施策の一つとして、アジア各地域との連携を目的とした海外開催を年1～2回のペースで実施しています。ここでは来年1月にAP研2種研として開催予定のMJWRT2017(The 2017 Malaysia-Japan Workshop on Radio Technologies)についてご案内します。今回はマレーシアのクアラルンプールにて2017/1/26(木)・27(金)の2日間の日程で開催します。一般発表も公募します。発表申込受付期間は10/1～11/15の予定です。申込み方法やスケジュール等の詳細はAP研HPをご参照下さい。多くの皆様のご発表・ご参加をお待ちしています。

【3】AP研50周年記念パーティのご案内

今年はAP研創立50周年です。これを祝う記念式典を下記の要領で開催します。詳細はAP研HPにて案内しますのでご確認下さい。半世紀に一度の記念行事です。AP研関連の皆様是非ご出席下さい。次回開催は50年後ですよ!!

- ■ 日時:2016/12/8(木) (12月AP研開催日)
- ■ 場所:機械振興会館
- ■ スケジュール
  - 16:00～17:00　AP研創立50周年記念講演(B2F:機械振興会館ホール)
    - 講演者: 澤谷邦男(東北大・元AP研委員長・元通ソ会長)
    - 長敬三(千葉工大・現AP研委員長)
  - 17:30～19:30　AP研創立50周年記念パーティ(5・6F:機械振興倶楽部)
- ■ 参加費:10,000円(記念品代込み・事前申込が必要です・定員:150名)

【4】[AP研新企画] 研究会ライブ映像配信のご紹介

AP研では、新しい研究会参加形態を模索する一施策として、研究会発表映像の配信を予定しています。研究会における講演の様子や発表スライド等のライブ映像をYouTubeのライブストリームにのせて配信するものです。技報年間購読者・電子化年間登録者を対象に視聴可能とする予定です。このシステムを活用して頂ければ会場にいなくても研究会発表をご覧頂けるようになります。「今月の研究会にはとても興味ある発表があるのだけど、開催地は遠方だし、そのためだけに出張するのは....」という方には効率的な情報収集手段になると考えています。現在まだシステムのテスト段階ですが、技術的な問題はほぼクリアできました。早期に実

運用を開始できるように現在精力的にシステム構築中です。これまで7月小樽・8月長崎などでクローズドな試験運用を実施しました。実際に運用開始となりましたらAP研HP等でお知らせ致します。ご期待下さい。

【5】和文論文誌B特集「高度化する無線システムの基盤となるアンテナ・伝搬及び関連システムの論文特集」のご案内

毎年企画されている和文論文誌におけるAP特集が今年も実施されます。今回は、今後もさらに高度化し続けると期待される無線システムにおいて重要な役割を担うアンテナ・伝搬の諸技術に焦点をあてるとともに、関連分野の最新の研究成果を広く集めることを目的として論文を募集するものです。

和文論文誌での論文公開は、最新の研究成果を国内の幅広い読者層にわかりやすく、かつ迅速に情報発信することができます。多くのAP関連分野およびより広い研究分野の皆様からの積極的なご投稿をお待ちします。なお、AP研独自の企画として、本特集に掲載された論文を対象として表彰する予定です。

- 投稿締切：2017/1/5(木) (厳守)
- 発行年月：2017年9月号 (判定通知(予定)：第一回・2017/2月下旬、最終・2017/5月中旬)
- CFP：http://www.ieice.org/jpn/books/ronbuntokushu/cfp_JB_2017.09.pdf
- 問合先：特集編集幹事 道下尚文(防衛大)・有馬卓司(東京農工大)

【6】ソサイエティ大会のご案内

ソサイエティ大会が9/20(火)～23(金)の4日間、北海道大学で開催されます。AP研関連のセッションは全4日間にわたり約170件の発表が行われます。特に、最終日にAP研委員長経験者による特別セッションが開催されますので皆様大注目です(9/23(金)15:45～17:00@工学部B3棟B31)。

初秋の北海道は魅力いっぱいです。和文マガジン(B-Plus)秋号(9/1発行)に北大の山本強先生・西村寿彦先生が北大・札幌の歩き方を紹介されている記事も掲載されますのでご参考に。B-Plusはオンライン(http://www.ieice.org/~cs-edit/magazine/)でフリーで読めます。皆様札幌で会いましょう。

【7】今後のAP研開催のご案内

10月AP研はISAP2016開催のため休会です。11月のAP研はRCS研との併催で24(木)・25(金)に京都開催です。晩秋の京都は観光シーズンのピークなので出張準備を早め・万全に。12月AP研は8(木)に機械振興会館で開催します。前述のとおりAP研50周年記念行事が併せて開催されます。研究会にも是非ご参加下さい。12月研究会は10/10申込締切ですが、記念行事開催に伴って発表件数を調整させて頂く可能性があります。来年1月のAP研はWPT研との併催で19(木)・20(金)に広島平和記念公園にも近い広島工大広島校舎にて行います。無線電力伝送に加えて電波伝搬がテーマとなっています。発表申込は11/10締切です。全国各地で開催されるAP研に是非ご参加下さい。

【8】副委員長の戯言

このお知らせ記事はリオデジャネイロ五輪が開催されたお盆の時期に書きました。水泳・柔道・体操・卓球・バトミントン・レスリング・リレー・シンクロ・テニスなど(漏らしてたらすいません)の日本選手の活躍は、数々の歓喜を地球の裏側の日本まで運んでくれました((^-^)//""パチパチ)。注目されるべき競技・結果はいろいろとありますが、個人的には男子リレーの銀メダルが特に印象に残っています。個人の総タイムで劣る日本チームがバトンパスという精巧な技術を武器に列強チームに勝ったというのは、私個人には文字通り「スカっとジャパン」でした。これは、技術立国日本にもつながるところが多いと感じます。ただ、北京五輪リレー銅メダルの朝原宣治選手が、新聞で、「バトンパスの精度だけで勝てるはずはなく、地力である走力をつけたことが今回の銀メダルの重要なポイント」と書いてました。技術力に置き換えると、精巧なモノづくり技術などの基盤はもちろん重要ですが、研究開発力という根源となる力もなくてはならない、と言えるのでしょうね。当たり前のことですね。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　岩井誠人(同志社大)
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/
ISAP Archives：http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/